➢ 消化器・一般外科

当科では消化器外科専門医、日本内視鏡外科学会・技術認定医が常勤しており、腹腔鏡下手術を積極的に施行しています(食道癌、胃癌、大腸癌、胆嚢結石、虫垂炎、腸閉塞、鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニアなど)。

消化器癌診療は各臓器の癌診療ガイドラインに準拠しています。さらに早期消化管癌は消化器内科と内視鏡治療の適応を検討しています。2019 年 5 月より手術支援ロボット（ダビンチ）を用いて、低侵襲手術の向上に努めております。

抗癌剤治療は外来化学療法室にて原則施行しており、術後補助化学療法のほか進行再発癌に対する QOL 改善、延命を目指す治療を行っています。院内では月 1 回の化学療法安全運営会議が開かれ、治療レジメンの吟味・処方内容の院内統一を図っています。

◆手術症例の概要　　手術内訳　2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日

疾患名	症例数
食道癌根治術	5
食道良性手術	0
胃十二指腸良性手術	6
胃十二指腸悪性手術	25
イレウスを除く小腸手術	13
イレウス手術	26
虫垂炎手術	56
大腸肛門悪性根治術	97
大腸良性手術	22
肛門良性手術	45
胆道良性手術	90
胆道悪性手術	3
肝切除術	3
膵良性手術	1
膵悪性腫瘍根治術	5
門脈、脾手術	1
外傷手術	7
ヘルニア手術	88
その他	152
計	645

◆主疾患治療プロトコール

主疾患治療プロトコール（クリニカルパスによる術後入院期間）

胃癌	胃全摘術	術後 14 日間
	幽門側胃切除術	術後 14 日間
大腸癌	大腸癌手術	術後 14 日間

◆その他

当科が資格を有する当院の施設基準：

日本外科学会認定医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化器病学会認定施設、日本大腸肛門病学会専門医修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設